

開催年月日 令和3年12月7日(火)

質問者 日本共産党 菊地 葉子 議員

答弁者 新型コロナウイルス感染症対策監 原田 朋弘

質問内容	答弁内容
<p>一 新型コロナウイルス感染症対策等について (三) オミクロン株への対応等について オミクロン株に対応する上でも、徹底した検査と陽性者の隔離が重要ですが、国の水際対策は二転三転し、十分な対策を打ち出しているとは言えません。 無症状者を含め誰もがPCR検査を受け、オミクロン株の検出調査体制を構築するとともに、自宅療養ではなく入院・宿泊療養を原則とし、封じ込め対策を万全に行うべきと考えますが、見解を伺います。</p>	<p>【新型コロナウイルス感染症対策監】(医療・検査体制班) オミクロン株への対応についてでございますが、オミクロン株は、世界各地に広がりを見せ、国内でも感染者が確認されており、国では、外国人の新規入国を停止するなど、水際対策における緊急避難的な予防措置を講じるとともに、国立感染症研究所において、この株を「懸念すべき変異株」に指定するなどし、全国的に監視体制の強化を図ることとしたところでございます。 こうした中、道では、新たな変異株の道内への流入を監視するため、道立衛生研究所において、海外や道外に滞在歴のある患者などへのゲノム解析を進めますとともに、スクリーニングについては、国において、検査手法が確立され次第、速やかに導入することとしております。 また、国の通知に基づき、オミクロン株の感染が確認された方については、原則入院とし、濃厚接触者がいる場合については、札幌市内の既存の宿泊療養施設1カ所を一時転用し、そこでの滞在を求めているところでございます。</p>